

匠の街春日部かわら版

発行 ㈱コーワ
編集室: 工房えびはら

「ぶらり散歩」-52- 日光・祈りのパワースポット



「もう一つの日光」と言われる滝尾(たきの)の神社に つながる神秘の古道を歩いてきました。地元では祈りのパワースポットと呼ばれる日光の穴場です。

世界遺産・日光には、一社一寺、日光東照宮・荒山神社・輪王寺だけでは語り尽くせない、静かな魅力が数多く残されています。今回訪ねたのは、弘仁11年(820年)に弘法大師・空海が創建したと伝わる「滝尾(たきの)の神社」。そこから続く古道は、日光屈指の「隠れパワースポット」として知られています。

【滝尾古道】

東照宮の北東、東照宮美術館脇から始まる「史跡探勝路」。石畳の小径へ一歩足を踏み入れると、観光客で賑わう日光とは別世界が広がります。杉の巨木が立ち並び静寂の古道。まっすぐ続く石畳。空気がひんやりと澄

み、まるで山全体が神聖な力に包まれているかのようです。

【開山堂】



古道を進むと現れるのが勝道上人ゆかりの「開山堂」です。朱塗りの建物が静かに佇み、日光開山の祖・勝道上人が祀られています。境内でひときわ目を引くのが、観音堂(つばい)に奉納された将棋の駒「香車」です。「これは別名「香車堂」と呼ばれ、安産祈願の信仰で知られています。香車は真つ直ぐ進む駒であることから、「無事にまっすぐ生まれてくる」という願いが込められていると云います。妊婦さんが香車を借りて帰り、出産後に新しい駒(こども)に返納するため、堂内には無数の駒が並びます。女性を守る信仰が根づく場所として、古くから多くの人の祈りを集めてきたのでしよう。

【日光を開いた僧 勝道上人】

開山堂の裏手には、勝道上人の墓所があります。背後には「仏堂」と呼ばれる巨大な岩壁がそびえ、こ



で上人が入寂したとも伝えられています。勝道上人は735年、現在の栃木県真岡市に生まれました。幼少の頃、「日光山を開きなさい」と神のお告げを受けたといわれています。その後、苦難の末に男体山登頂を果たし、中禅寺湖や華嚴の滝を発見。日光信仰の礎を築きました。

現在も日光の山々には、勝道上人が歩いた祈りの道が息づいています。「もう一つの日光」へ続く石畳古道、滝尾神社へ続く史跡探勝路は、かつて女体山へ向かう山岳修験の道でした。男体山信仰の「荒山神社」に對しての道が「もう一つの日光」とも呼ばれています。杉並木に包まれながら歩いていると、自然そのものが神様であるという古来の信仰を体感できます。歩くだけで心が静まり、不思議な力が湧いてくる感じが、まさに「歩くパワースポット」です。

【白糸の滝と運試しの鳥居】

滝尾神社の入口近くには「白糸の滝」が流れています。高さ10メートルほどの小さな滝ですが、古くから霊場の滝として知られ、多くの修験者たちが身を清めた場所です。

文明18年(1486年)には、京都聖護院の道興准后が次の和歌を残しています。
「せ々を経て 結ぶ契りの 未な

れや、この滝尾の たきの白糸」
滝の白い流れを見ていると、時代を超えて人々を魅了してきた理由がわかる気がします。さらに階段を上ると現れるのが「運試しの鳥居」です。鳥居の額にある小さな穴へ向かって小石を投げ入れ、入った数で運勢を卜うものですが、これが驚くほど難しいのです。旅の思い出として挑戦してみるのはおすすめです。

【滝尾神社の神秘と利益】



朱塗りの楼門を抜けると、静かな森の中に拝殿・唐門・本殿が現れます。「祭神は「田心姫命(たごりひめのみこと)」。水の神様として知られ、弘法大師によって祀られたと伝わっています。境内には、良縁祈願の「縁結びの笹」「子宝・安産に」利益がある「三種石」、酒造りの神様が宿る「酒の泉」など数々のパワースポットが点在しています。中でも庄巻なのが、御神木「滝尾三本杉」です。天に向かっている三本の杉は、境内でもっとも神聖な場所といわれています。現在の木は、一代目で樹齢2500~3000年。倒れた先代の御神木も存続したまま残されており、自然と信仰が一体となった神秘的な景観を作り出しています。

三本杉の前に立ち、不思議なほど空気が澄み、温かい気配に包まれる



ような感覚になります。「こは地元の人々に守られる祈りの場所です。滝尾神社は、単なる観光地ではありません。今も地域の人々に守られ、信仰され続けている「生きた神社」でした。

華やかな東照宮とは対照的に、滝尾神社には自然と共に生きる日光本来の姿があります。静かな杉並木を歩き、滝の音に耳を澄ませ、古の祈りに触れる。

そんな旅を楽しめるのが、滝尾神社へ続く古道です。日光を訪れた際は、ぜひ少し足を延ばして、「本場の日光のパワースポット」を体感してみたいかがでしょうか。

【滝尾神社は女峰山の登山口】

滝尾神社は女峰山(2483m)の登山口です。日光三山のひとつであり、女峰山は山岳信仰でも知られ、修験道の修行である「日光三山掛け」の一番山とされます。男体山の祭神が大国主神であるのに対して、女峰山の山頂には滝尾神社の奥社女峰山神社があり、大国主命の妃の一人、田心姫命(たごりひめのみこと)が祭られています。女峰山(よほうさん)は日光市の北側、男体山の北東約7km地点にある成層火山です。



男体山(2484m)も、日光火山群に属するほぼ円錐状の成層火山で、日光表連山の女峰山、大真名子山、小真名子山など並びます。周辺の観光地の中禅寺湖、戦場ヶ原や奥日光のランドマーク的存在であり、日本百名山のひとつにも数えられます。山名は、東北側の山続きの女峰山と対で付けられたものと考えられます。男女一対の山には、他地域にも多くの例がありますが、男体山と女峰山は、その間に大真名子山、小真名子山という「二つの愛子」を抱え、男体山の北には太郎山を擁し、火山一家を成しているところが特徴的です。

今回は、滝尾神社の運試しの鳥居と朱塗りの楼門を背景に「ぶらり散歩」の唄にしてみました。
(共栄大学客員教授 海老原武)

吟遊詩人 TAMONJI OTONA WAVE 工房えびはら

ぶらり散歩
「もう一つの日光」へ
滝尾神社につながる神秘の古道を歩く

- 史跡探勝路
- 開山堂・香車堂
- 勝道上人の夢
- 白糸の滝
- 滝尾神社
- 運試しの鳥居
- 女峰山
- 田心姫命
- 三本杉
- 成層火山
- 成層火山
- 成層火山

